

平成 17 年 6 月期 第2四半期業績の概況(連結及び個別)



平成17年2月14日

会社名 グッドウィル・グループ株式会社 (コード番号 4723 東証第一部)
 (URL <http://www.goodwill.com>)
 代表者 役職名 代表取締役会長
 氏名 折口 雅博
 先 役職名 常務取締役管理本部長兼会長室長
 氏名 金崎 明 TEL (03) 3405 - 9228

1. 四半期業績の概況の作成に係る事項

会計処理の方法の最近連結会計年度における認識の方法との相違の有無 : 無
 連結及び持分法の適用範囲の異動の状況 : 無

2. 平成17年6月期第2四半期業績の概況(平成16年7月1日～平成17年12月31日)

(1) 経営成績

(単位:百万円未満切り捨て)

	売上高		営業利益		経常利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
17年6月第2四半期	67,959	(60.0)	3,583	(10.4)	2,955	(4.9)
16年6月第2四半期	42,464	(46.4)	3,246	(30.4)	3,107	(26.4)
(参考)16年6月期	93,042	(49.4)	5,974	(20.2)	5,539	(15.1)

(注) 売上高、営業利益、経常利益におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。

[経営成績に関する補足説明]

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、輸出及び設備投資が増加し、企業収益が改善、失業率も低下しており、ゆるやかではありますが回復基調となりました。

こうした状況の中、当企業グループは、グループ経営の意思決定及び業務執行の迅速化等を目的として平成16年8月1日付で純粋持株会社に移行し、当社グッドウィル・グループはグループ各社を統括する純粋持株会社となりました。

グループの各事業については派遣・請負事業においては人材の流動化によるアウトソーシングへの高まる需要に対応すべく積極的に営業を進めてまいりました。以前より行っている登録スタッフ向けTVCM(mobaito.com)や、積極的な拠点展開を行うだけでなく、平成16年12月にはプライバシーマークの認証を受け、情報セキュリティに対応、より一層の信用度アップに努め、登録スタッフ、顧客企業の双方に対して安心してご利用いただける体制を整えました。介護・医療支援事業においては、在宅介護事業については、引き続き需要の旺盛な訪問介護サービスに対する需要に応えるため、拠点数を拡大するとともに、ケアマネジャー及びホームヘルパーの積極採用・育成を行いました。また、グループホーム(痴呆対応型共同生活介護施設)が102ヶ所、有料老人ホームも既存の3ヶ所に加えて、平成16年10月に新たに1箇所オープンし、今後ますます高まる需要に対応できるよう努めてまいります。人材関連事業においては、社員カウンセリングプログラム事業が近年のストレスや鬱病に対する社会問題に対応できる事業として認知されてきており順調に推移いたしました。

(2) 当該四半期において企業集団の財政状態及び経営成績に重要な影響を与えた事象

該当する事象は特に発生しておりません。

3. 平成17年6月期の連結業績予想(平成16年7月1日～平成17年6月30日)

	予想売上高	予想経常利益	予想当期純利益	1株当たり 予想当期純利益	
	百万円	百万円	百万円	円	銭
通 期	140,000	6,200	2,900	4,456	46

[業績予想に関する定性的情報]

平成16年12月13日に業績予想の修正を発表いたしました。

1. 当該四半期の連結売上高の状況

(単位:千円、単位未満切り捨て)

品目名	期別	17年6月第2四半期
		自平成16年10月1日 至平成16年12月31日
セグメント	派遣・請負事業	22,625,578
	人材関連事業	962,936
	介護・医療支援事業	12,547,589
	その他の	220,626
	トータル	36,356,729

(注) 1.上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2.当企業グループが行う業務は人員数、期間等が一様ではなく、数量表示は困難でありますので記載しておりません。

3.事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。また、上記の金額は、セグメント間の内部売上高または振替高消去後の金額であります。

4.セグメント別区分について

派遣・請負事業 ... 人材派遣・請負(当社子会社(株)グッドウィル、(株)ソア、(株)グッドウィルエンジニアリング、ヒュー・マネジメント・ジャパン(株))

人材関連事業 ... 社員カウンセリングプログラム(EAP)事業(当社子会社(株)グッドウィル・フォーサイト)、人材紹介(当社子会社(株)グッドウィル・キャリア)、再就職支援事業(当社子会社ヒュー・マネジメント・ジャパン(株))

介護・医療支援事業 ... 在宅介護事業、訪問看護、訪問歯科診療サポート、施設介護事業、教育養成事業(当社子会社(株)コムスン)

その他の事業 ... 保育サービス(当社子会社(株)コムスンの子会社(株)コティ)、ペットケア事業(当社子会社(株)コムスンの子会社アドホック(株))

5.売上高の数値は、未監査であります。

2. 当該四半期の連結損益計算書

(単位:千円、単位未満切り捨て)

科目	17年6月第2四半期		16年6月第2四半期		前年同期比増減	
	自平成16年10月1日 至平成16年12月31日		自平成15年10月1日 至平成15年12月31日			
	(A)		(B)			
	金額	百分比	金額	百分比	金額(A)-(B)	増減率
売上高	36,356,730	100.0%	23,435,413	100.0%	12,921,317	55.1%
売上原価	24,331,483	66.9%	15,481,651	66.1%	8,849,831	57.2%
〔売上総利益〕	12,025,247	33.1%	7,953,762	33.9%	4,071,485	51.2%
販売費及び一般管理費	9,962,903	27.4%	5,960,301	25.4%	4,002,602	67.2%
(うち連結調整勘定償却)	(429,446)	1.2%	(136,336)	0.6%	(293,110)	215.0%
〔営業利益〕	2,062,343	5.7%	1,993,460	8.5%	68,883	3.5%
営業外収益						
受取利息	15,072	0.0%	12,410	0.0%	2,662	21.5%
その他	75,295	0.2%	20,536	0.1%	54,759	266.6%
営業外費用						
支払利息割引料	290,474	0.8%	69,880	0.3%	220,594	315.7%
その他	115,654	0.3%	53,956	0.2%	61,698	114.3%
〔経常利益〕	1,746,582	4.8%	1,902,571	8.1%	155,988	8.2%

(注) 1.上記損益計算書においては、特別損益以下の項目の記載の省略しております。

2.前年同期比増減欄の増減は下記の計算式によって算出しております。

$$\text{増減率} = \frac{(\text{A})\text{当年第2四半期の実態} - (\text{B})\text{前年第2四半期の実態}}{(\text{B})\text{前年第2四半期の実態}} \times 100$$

3.上記の数値は、当四半期における業績の速報であることから、一部正規の決算手続を経ていないものが含まれており、未監査であります。

3. 当該四半期の連結貸借対照表

(単位:千円、単位未満切り捨て)

科目	17年6月第2四半期 平成16年12月31日現在	
	金額	百分比
流動資産	42,736,154	38.9%
固定資産		
有形固定資産	27,003,447	24.6%
無形固定資産	32,866,126	30.0%
投資その他資産	7,152,439	6.5%
資産合計	109,758,167	100.0%
流動負債	36,667,341	33.4%
固定負債	32,701,613	29.8%
負債合計	69,368,955	63.2%
少数株主持分	1,849,042	1.7%
資本合計	38,540,168	35.1%
負債、少数株主持分及び資本合計	109,758,167	100.0%

4. 当該四半期の個別損益計算書及び貸借対照表

当社は平成16年8月1日付で会社分割を行い純粋持株会社に移行いたしました。これにより、当社グループとしての財政状態や経営状態に影響はございませんが、当社個別の財政状態や経営成績については、前期数値との継続性がなくなることから、当四半期は前期比較形式での開示を省略し、当四半期の実績のみを記載しております。

(損益計算書) (単位:千円、単位未満切り捨て)

科目	17年6月第2四半期 自平成16年10月1日 至平成16年12月31日 (A)	
	金額	百分比
売上高	682,748	100.0%
売上原価	43,484	6.4%
〔売上総利益〕	639,263	93.6%
販売費及び一般管理費	469,370	68.7%
〔営業利益〕	169,892	24.9%
営業外収益		
受取利息	3,291	-0.5%
その他	46,851	6.9%
営業外費用		
支払利息割引料	245,649	36.0%
その他	98,022	14.4%
〔経常利益〕	130,219	-19.1%

(貸借対照表) (単位:千円、単位未満切り捨て)

科目	17年6月第2四半期 平成16年12月31日現在	
	金額	百分比
流動資産	5,454,110	6.7%
固定資産		
有形固定資産	24,526,778	30.0%
無形固定資産	6,717	0.0%
投資その他の資産	51,874,726	63.3%
資産合計	81,862,332	100.0%
流動負債	17,054,090	20.8%
固定負債	29,366,629	35.9%
負債合計	46,420,719	56.7%
資本合計	35,441,613	43.3%
負債及び資本合計	81,862,332	100.0%

(注) 1. 上記損益計算書においては、特別損益以下の項目の記載の省略しております。

2. 前年同期比増減欄の増減は下記の計算式によって算出しております。

$$\text{増減率} = \frac{(A)\text{当年第2四半期の実態} - (B)\text{前年第2四半期の実態}}{(B)\text{前年第2四半期の実態}} \times 100$$

3. 上記の数値は、当四半期における業績の速報であることから、一部正規の決算手続きを経ていないものが含まれており、未監査であります。

(参考)

第1四半期の連結売上高の状況

当社は平成16年8月に会社分割により純粋持株会社となり、これを機に子会社の事業の整理・再構築を行い、子会社間で事業移管や合併等を実施いたしました。請負業については、これまで人材派遣に関する法的規制もあり、原則として別会社で事業を行っていましたが規制緩和が進み、人材派遣でカバーできる業務範囲が拡大してきました。こうした流れを受けて、当社グループとしてはこれまで請負契約を結んで行ってきた事業を、原則として派遣契約によって行っていくこととすると共に、人材派遣事業を基本的に㈱グッドウィルに一本化したしました。このような背景から、内部の業績管理上で請負事業と人材派遣事業を区分していく必要性が薄くなってまいりました。

このような状況の中、グループ全体の事業管理区分を見直した結果、従来「人材関連事業」に含まれていた人材派遣事業については、「請負事業」と統合し、新たに「派遣・請負事業」として開示することとするとともに、これまでの事業区分に属さない新規連結子会社などについて「その他事業」を新設いたしました。

これにともない、平成16年10月27日に公表いたしました第1四半期のセグメント別売上高を新たな区分に基づいて記載すると以下ようになります。

(単位:千円、単位未満切り捨て)

旧セグメント			新セグメント		
品目名	期別	17年6月第1四半期	品目名	期別	17年6月第1四半期
		自平成16年7月1日 至平成16年9月30日			自平成16年7月1日 至平成16年9月30日
セ グ メ ン ト	請負事業	17,655,759	セ グ メ ン ト	派遣・請負事業	18,619,164
	人材関連事業	2,076,631		人材関連事業	1,113,226
	介護・医療支援事業	11,870,757		介護・医療支援事業	11,682,163
				その他	188,593
	合計	31,603,148		合計	31,603,148